

岡山県金融経済月報

(2020年8月)

1. 概況

県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱い動きが続いている。

最終需要をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが続いている。設備投資は、幾分減少しているが、高水準を維持している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。輸出は、一段と減少している。

こうしたもとで、県内主要製造業の生産は、低水準が続いている。

雇用・所得環境をみると、新型コロナウイルス感染症の影響から、労働需給は弱めの動きがみられているほか、雇用者所得も下押し圧力が強い状態にある。

2. 実体経済

(1) 個人消費

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが続いている。

百貨店・スーパー売上高は、弱めの動きが続いている。乗用車販売は、弱い動きとなっている。家電販売は、持ち直しつつある。この間、旅行取扱高は、前年を大きく下回った。主要観光地への入り込みは、前年を大きく下回った。

(2) 設備投資

県内企業の設備投資は、幾分減少しているが、高水準を維持している。

20/6月短観調査における設備投資額は、19年度は、製造業が前年を上回ったものの、非製造業が前年を下回ったことから、全体では前年を下回った。20年度は、製造業、非製造業ともに前年度から幾分減少する計画となっている。

この間、着工建築物床面積(非居住用<4月~6月>)は、前年を下回った。

(3) 住宅投資

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

6月の県内新設住宅着工戸数をみると、持家系、貸家系ともに前年を下回った。

(4) 公共投資

公共投資は、高水準で推移している。

発注の動きを示す県内公共工事保証請負額をみると、6月は、「市町村」を中心に前年を上回った。

(5) 輸 出

輸出は、一段と減少している。

5月の県内輸出（通関実績）をみると、石油製品や化学製品を中心に前年を下回った。

(6) 生 産

県内主要製造業の生産は、低水準が続いている。

5月の県内鉱工業生産指数（直近計数）の季調済前月比は、2か月連続で低下した。

主 要 製 造 業 の 生 産 動 向

業 種	足 も と の 動 向
自 動 車	低水準が続いている。
鉄 鋼	低水準が続いている。
化 学	生産水準が低下している。
石油・石炭	弱めの動きとなっている。
造 船	高操業となっている。
織 維	弱めの動きとなっている。
電気機械	持ち直しつつあるものの、このところそのペースが鈍化している。
窯業・土石	減少している。
農 機 具	弱めの動きとなっている。
工作機械	減少している。

(7) 雇用・所得

労働需給は引き締まった状態が続いているが、新型コロナウイルス感染症の影響による弱めの動きがみられている。雇用者所得も感染症による下押し圧力が強い状態にある。

労働需給面をみると、6月の有効求人倍率は、高水準にあるが、感染症の影響により前月より低下した。5月の所定外労働時間は、前年を下回った。

雇用面をみると、5月の常用労働者数は、前年を下回った。6月の解雇者数は前年を上回ったが、雇用保険受給者数は、前年を下回った。

賃金面をみると、5月の一人当たり現金給与総額は、前年を上回った。

(8) 物 価

6月の岡山市消費者物価指数（2015年基準、生鮮食品を除くベース）は、生鮮食品を除く食料や住居を中心に前年を上回った。

(9) 企業倒産

6月の県内企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額10百万円以上）をみると、倒産件数は前年と同数となった。負債総額は前年を上回った。

3. 金 融

(1) 実質預金

6月の県内実質預金をみると、全体では前年を上回った。

(2) 貸 出

6月の県内貸出をみると、全体では前年を上回った。

(3) 貸出約定平均金利

6月の新規貸出約定平均金利（総合ベース）は、前月比上昇した。ストック金利(同)は、前月比低下した。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。
〒 700-8707 岡山市北区丸の内1-6-1
日本銀行岡山支店総務課 TEL 086-227-5111(代表)
FAX 086-227-6350
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知るぼると 岡山
はこちら！！

